



香風

令和5年
12月22日 第13号
編集責任
校長 小川 雄一郎

[南中学校 学校教育目標]

「郷土を愛し、確かな学力を身につけ、未来を切り拓こうとする子どもの育成」

[中期的な教育目標]

- ① 一人ひとりが主体性をもち、学び合い高め合う生徒の育成
- ② 自他を尊重し、仲間と共に粘り強く取り組む生徒の育成



[本年度の重点目標]：「**進んで行動する生徒の育成**」



○ 奈良・京都の旅（2年生 修学旅行）

12月4日～6日の3日間、2年生は、修学旅行(奈良・京都)へ行ってきました。今年の修学旅行スローガンは「集学良交～忘れないのはルールとマナー、持って帰るのは最高の思い出～」。出発式の際、今年の重点目標「進んで行動」が問われることを確認し、八女市を出発。

<1日目～東大寺・平等院鳳凰堂・夕食～>

<2日目～班別自主研修出発～>

1日目は、奈良県奈良市にある東大寺と京都府宇治市にある平等院鳳凰堂を見学。東大寺では、有名な大仏を見上げ、平等院鳳凰堂では10円玉の図柄と見比べることになりました。天気も良く、所々に見られる紅葉に彩られた世界遺産に感動しました。

2日目は、班別自主研修。各班の計画に基づき、公共の交通機関を使いながら班ごとに見学地へ出発。それぞれに見学地を楽しんできたようです。

3日目は、京都市東区にある建仁寺と三十三間堂を訪問。建仁寺では、座禅を体験し、ありがたい法話をいただきました。

2泊3日の修学旅行を終え、少し成長した2年生。今後の生活にぜひ生かしてほしいものです。

○ 冬休み前全校集会にて（校長講話より）

後期スタートから3か月、合唱から始まり、中体連駅伝大会、ブラスバンド部の発表会、美術部の作品展示、そして各学年の行事として、1年生の地域清掃活動、2年生の修学旅行、3年生の碾き臼体験と、皆さんは取り組んできました。取り組みを通して、仲間同士の関わりを深め、何かを感じ、3か月前より少し成長した自分がいるはず。ところで、後期始業式で、皆さんに話したことを覚えていますか？皆さんには「半年後の自分をイメージしてほしい」と話しました。半年後、いや、今から4か月後、1年生は新入生が入り「先輩」。部活動を含め、学校生活で後輩を引っ張る立場。2年生は「最上級生」となり、南中を支える立場。3年生は、進路を実現し、新しい目標をもって、それぞれの場所にいるはず。今から4か月後、つまり令和6年4月を迎えた「自分自身」の姿、どうなっていますか？どうなっていたいですか？そのためには、今、これから、何をすべきですか？現在、3年生は、進路実現に向けて、高校へ提出する書類を準備するなど、具体的に動いています。すでに入試を終えた人もいます。ここで自分を振り返り、今、何をすべきか考え、一日一日を大切に学んでください。来年の4月を迎える「自分」のために。

○ 師走…令和5年の締めくくり

本日12月22日は「冬至（とうじ）」。北半球では、太陽の南中高度が最も低く、一年の間で昼が最も短く夜が最も長くなる日。冬至を境に、少しずつ南中高度が高くなり、昼の長さも長くなっていきます。さて、令和5年も残り9日。その令和5年の世相を表す漢字として「税」が選出されました。選ばれた理由は、1年を通して増税議論が活発に行われたこと等を反映してのようです。今年には自分にとってどんな年だったか振り返り、自分にとっての今年の漢字を考えてみてください。

○ 保護者の皆様へ

今年1年、本校の教育活動にご理解、ご協力いただき、心から感謝いたします。さて、生徒たちは、明日から冬休みに入ります。子どもたちの事故やトラブル防止及び充実した冬休みのために、次のことをお願いします。

- 交通ルール（特に自転車のルール・マナー）について声をかけること、パソコン・スマホ・タブレット等の使用、SNS利用の時間や使い方についてルール等を話し合われることをお願いします。
- 外出時には、誰とどこに行くのか、何時に帰るのかを伝えるようにと生徒には指導しておりますので、ご確認をお願いします。
- お子様と将来のことや生き方について、ご自分の体験、経験を交えて話す機会をつくっていただくと助かります。

1月9日には、元気な生徒たちと再会したいと考えています。令和6年も、よろしくお願いします。